

大阪市会を傍聴して（3・27集会 リレートーク）

昨日 27 日、「住んでよかったまち 大阪をつくる市民連帯集会」が大淀コミュニティセンターホールで開催された。地図で見ると、会場は長柄橋に近かったので、自転車で行くことにした。大阪北部地震のときに長柄橋を渡って帰宅したときを思い出した。



集会では、立命館大学の森裕之さんが「夢洲カジノ・IR で大阪破たん」と題し基調講演した。大阪 IR「基本協定書」などにより、とりわけ財政面から鋭く問題を指摘した。つづいてリレートークとして、4 人が発言した。私も「大阪市会を傍聴して」と、大阪府役所などの写真をバックに発言した。報告原稿を紹介したい。



名古屋から大阪市に転居して、4 年 4 ヶ月になります。名古屋では議会を傍聴したことはありませんでした。大阪に移ってから、「維新政治」に腹が立ち、大阪市会を定期的に傍聴するようになりました。大阪市廃止・特別区設置「法定協議会」は、毎回傍聴しました。その後も大阪府市一元化条例、夢洲への大阪 IR カジノ誘致、万博計画などの審議を傍聴してきました。

傍聴も、やはり生がいいです。生で市会を傍聴すると、維新に対する怒りが膨張してきます。それで「やる気」も出てきます。翌朝には怒りの傍聴記を書いて発信してきました。傍聴席から議場を眺めていると、議員の様子がよくわかります。松井市長は「親分づら」をして威張っています。維新の議員は、親分を意識して、深々とお辞儀をして発言します。委員会傍聴はコロナ禍により制限され、モニター視聴することが多いです。生とは違いますが、各会派の主張の違いが伝わってきます。16 日の都市経済委員会は、IR 事業者の参考人質疑でしたが、維新の藤田委員の誘導的な質問には腹が立ちました。公明の山田委員は IR 誘致に向け、「同意」のための答弁を引き出そうとしていました。

すでに 24 日には、府会で採決が行われました。久しぶりに府会を傍聴しましたが、気分は府会になり、府庁から出ると心身とも不調になりました。市会は 28 日の委員会で態度決定をして、29 日の本会議で IR 誘致「同意」の採決が行われます。厳しい状況ではありますが、あきらめるわけにはいきません。住民投票をもとめる運動や住民監査請求など、議会後にもやることはあります。市会傍聴を続ける中で、陳情書を毎回出すようになりました。2 ヶ月ほど前からは、やり方を教えてもらい、情報公開請求を再三行っています。IR 推進局、カジノ=賭博推進局の情報隠しに腹が立ったからです。基本協定書など入手した情報をレポートで紹介しています。



集会の最後に、参加者が幟などを掲げて、「止めようカジノ」「住民投票実現」をアピールした。集会後にはパレードも。

(2022 年 3 月 28 日)